

平和の花咲く展望台



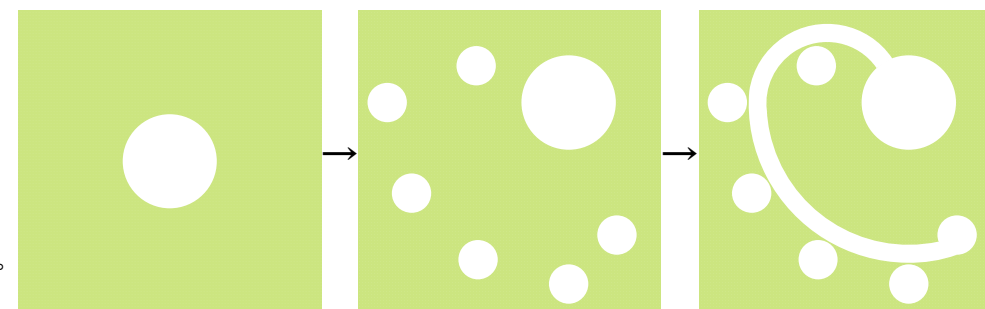
01-コンセプト

「海軍戦没者慰霊之塔」の背面にあるこの丘の上にふさわしい景色（展望台）とは、何か？

海軍壕公園は激しい戦場となった場所で、多くの命が失われました。この地を訪れた人々は、戦争の恐ろしさや悲惨さを学び、たくさんの花を添え、恒久な平和を願います。

現在この公園は緑豊かな環境の中で、穏やかな街並みと海が望めます。いつまでもこの景色が続きますよう、私は、この丘の上に永遠に咲き続ける“平和の花”を植えることにしました。

02-ダイアグラム



step1 一輪の大きな花

一輪の花を植えてみた。少し寂しさを感じる。また、展望台として先着利用者がいると、入りづらさがある。

step2 花を分散させる

1つの花から複数へ分散させることで、人同士の意識的な距離感が生まれ、かつ気軽に利用ができる。

step3 スロープで繋ぐ

それぞれの花は高さを変え、大空へ向かうスロープで花達を結ぶ。

03-計画

【白い平和の花】

展望台である平和の白い花は、手摺を外側へ少し反らせた形にすることで、花びらを表現しました。海軍壕公園で戦争の悲惨さを知り、重い気持ちに沈んだ時、この大空へ向かうスロープを上っていくと、それぞれ淡い色（ペーブメント）の花が迎え、人々の心を癒します。公園を訪れた子供から大人まで登ってみたいくなるような「白い平和の花（展望台）」を目指しました。

【人の意識的な距離感】

通常の展望台だと、人が密集しがちということに加え、先着の利用者がいると少し入りづらさがあります。そこで今回の計画では、展望台を分散型で配置することで、人と人の意識的な距離感を創りました。そうすることで、好きな展望台を選び、気兼ねなく景色を楽しむことができます。

【構造・仕上】

展望台・スロープ：鉄筋コンクリート造 吹付タイル仕上（ホワイト） 床：磁器質タイル 50角 手摺：H=1200 スチールフラットバー 溶融亜鉛メッキ処理 マリンペイント（ホワイト）



大空へ向かうスロープが各展望台を結ぶ。



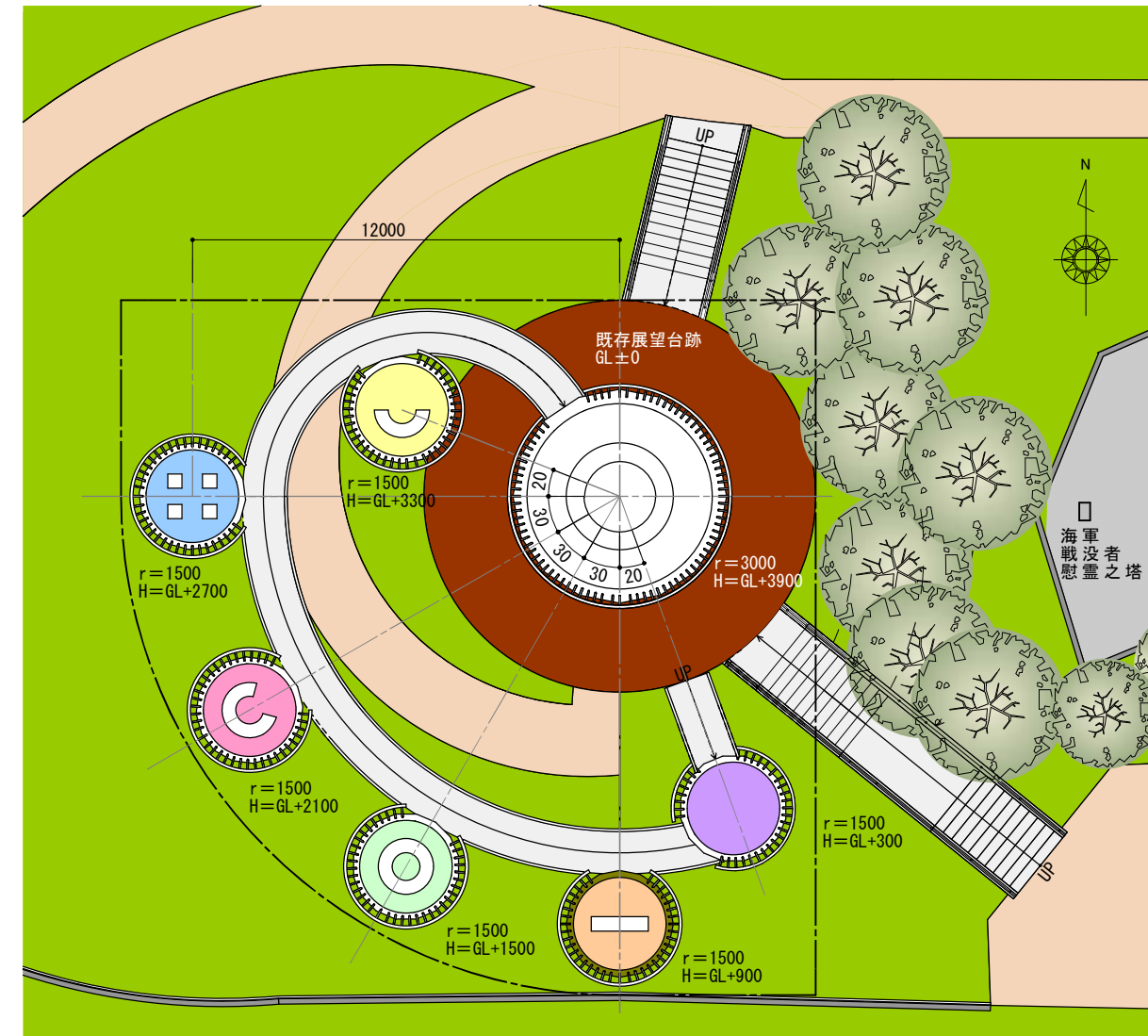
平和の花と花の間を散歩する。



それぞれ高さを変えた展望台が、海軍壕公園の永遠に咲き続ける平和の花となる。



既存の階段から、板敷きの円形ステージ（既存展望台跡）へ上る。連続するかのようにはスロープで上がり、それぞれの花の展望台へアプローチする。分散された展望台は、人と人との意識的な距離を保ち、それぞれ気兼ねのない空間を創る。上ってみて初めて、色とりどりの花に気づき、明るく平和な未来を願う。



平面図 1/200

